

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ながおか医療生活共同組合	代表者	羽賀 正人	法人・事業所の特徴	長岡市内で複数の診療所や多数の高齢者施設を運営する医療生活協同組合が平成19年に開設した小規模多機能型居宅介護施設である。認知症対応型共同生活介護が併設されている他、同じ法人の通所介護や認知症対応型通所介護、介護付（混合型）有料老人ホームも隣設されており、互いに協力・連携して運営されている。また、経営母体の診療所とは日頃から緊密な連絡をとり情報を共有し、適切な医療が受けられるよう支援している。
事業所名	プラット笹崎	管理者	田中 太一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	3人	1人	0人	1人	1人	0人	2人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ●年度初めに評価全体の工程表を作成し、計画的に自己評価・事業所評価を行い外部評価が開催できる。 ●事業所自己評価の改善計画は、第三者が見てもわかりやすく具体的に明記し評価しやすい内容とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●外部評価の工程表を作成し、予定通りに実行できた。 ●事業所評価の改善計画は具体的にし、事業所外の方にもわかりやすく、評価の参考になるよう配慮した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●職員も評価する項目がわかると日々の意識が変わると思う。 ●幾つも改善計画を取り上げても、実践できなければ意味がないので優先順位をつけた方がよい。 ●プラット笹崎はよくやっているとと思う。 ●プライバシーはよく取り組んでいるのがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●改善計画は、実現可能な計画とし、確実に取り組めるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ●年2回利用者家族や地域の方が気軽に事業所へ立ち寄れるような行事を企画し、一緒に過せる機会を設ける。(7月：納涼祭、10月：ささぎき祭) 	<ul style="list-style-type: none"> ●7月の納涼祭には地域のボランティアの方々等を多数招き盛大に行われた。 ●法人全体の祭を10月に実施したため、事業所の祭りは行わなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●入口にインターホンがあるが速やかな対応で気持ちが良い。 ●事業所は明るい。 ●ごちゃごちゃした印象がある。 ●近くに店はなく、車通りが少ない。 ●鍵は開放されている。 ●施設特有の臭いはしない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●年2回利用者家族や地域の方が気軽に事業所へ立ち寄れるような行事を企画し、一緒に過せる機会を設ける。(7月：納涼祭、9月：敬老会)
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の方を対象にした認知症学習会の開催や見学会、年2回地域を訪問し、福祉の相談にのり地域との関係を築く。(6月、10月) 	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症学習会は開催できなかったが、町内の消防訓練の会場にしていただけ事業所内の防災設備を見てもらうなど開放した。また、事業所に関心を持っていただけよう説明の場を設けた。 ●年2回地域を訪問し、福祉の相談にのった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●笑顔で挨拶がきちんとされている。 ●少しずつ周知されていると思う。 ●町内には若い方が多く、関心が少ない世帯が多い。 ●町内のクリーン作戦や防災訓練等に参加してもらっている。 ●児童館のように子供が安全に過ごせて、お年寄りと関われるようにできると良いのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の方を対象にした認知症学習会の開催や見学会、年2回の地域訪問、オレンジカフェへ参加し福祉の相談にのり地域との関係を築く。(6月、10月)
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●民生委員や町内会長への訪問、運営推進会議構成員、回覧板から地域が主催する行事の情報を得、利用者と職員と一緒に参加できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●町内会長から町内のお祓いを紹介してもらい、施設内でお祓いをしてもらった。 ●職員は資源回収、町内清掃、防災訓練等に参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議等で意見交換がされている。 ●行事が少ない。 ●特に心配な方がいない。 ●現実的に関わりは難しいのでは…。 ●菜園があると外に出る機会になる。 ●ドラム缶で焼き芋をしているところもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●季節に応じた外出や外食を企画し、事業所外の雰囲気を楽しんでいただく。(4月：お花見、5、6月：バスハイク、7月：アイスクリーム外出、9月：コスモス鑑賞、10月：紅葉ドライブ、誕生日外食)
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議での参加者からの意見や提案等は、月1回行っている事業所会議にて検討し、次回の運営推進会議にて報告する。 ●運営推進会議の参加者から、地域に住まわれている方々の特色や問題を聞き、検討の場とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議での参加者からの意見や提案を、事業所運営に反映した。 ●運営推進会議で町内会長から地域の特色等をお聞きすることはできたが、個人情報保護の観点から問題を検討しなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所の取組みが具体的になっている。 ●地域の方等の事例検討は個人情報保護の観点から難しい部分。困っている人がいたらまず民生委員なのではないか。 ●地域での取組みは今後必要になると思う。 ●対策をよく検討されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の心配の方の情報を得た場合は、速やかに地域包括支援センターに報告し、連携をはかる。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議開催日に防災訓練を設け、会議参加者から訓練の様子を見ていただき、意見や要望を頂戴し改善につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●5月の運営推進会議開催日に防災訓練を設け、会議参加者から訓練の様子を見ていただき意見など頂戴し改善につなげた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●各マニュアルがあると思うが、内容は知らない。 ●年2回の訓練にできるだけ参加しようと思う。 ●事業所は町内の中心にあり、駐車場も広く、一時避難所になる。そうすれば心強い。 ●太田川が整備されたため、事業所は水害の被害はないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議開催日に防災訓練を設け、会議参加者から訓練の様子を見ていただき、意見や要望を頂戴し改善につなげる。 ●運営推進会議にて事業所の防災マニュアルを提示する。